

## 佐賀県学習状況調査・全国学力学習調査の結果

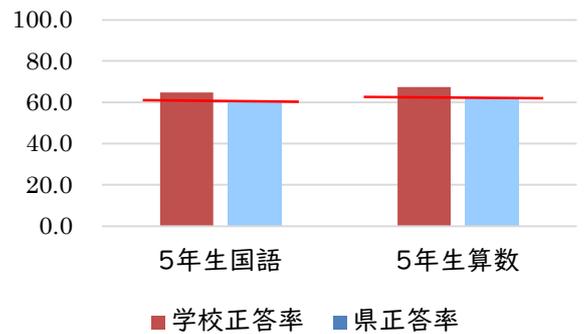
4月に5・6年生で実施した、学力調査の結果が出ました。本校の結果についてお知らせします。

令和7年度 佐賀県学習状況調査結果(5年生)

	学校正答率	県正答率	県との比較(A/B)
5年生国語	64.7	61.1	1.06
5年生算数	67.4	62.2	1.08

5年生は、国語・算数ともに、県の平均正答率を上回っていました。特に算数は、5ポイント以上上回っており、「数と計算」や「図形」の領域がよくできていました。国語も全体的によくできていましたが、「言葉・漢字」「文章を読む」領域にやや課題が見られました。

R7 佐賀県学習状況調査

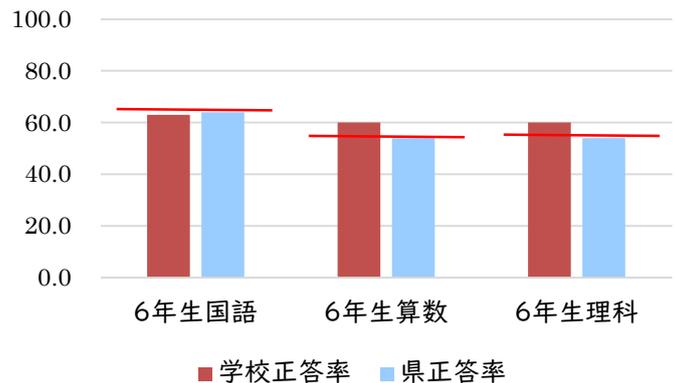


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果(6年生)

	学校正答率	県正答率	県との比較(A/B)
6年生国語	63.0	64.0	0.98
6年生算数	60.0	54.0	1.11
6年生理科	57.0	55.0	1.03

6年生は、国語が県の平均正答率をわずかに下回っていましたが、算数・理科は上回り、特に算数はどの領域もよくできていました。国語では、「言葉の使い方」に課題が見られました。6年生は「学習や生活に関する調査」も実施されましたが、その結果によると、「学校に行くのが楽しい」「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがある」という質問に肯定的な回答をした児童が95%以上でした。「新聞を読んでいるか」という質問に関しては、肯定的な回答が全国・県の平均よりかなり下回っていました。

R7全国学力学習調査



5年生、6年生で共通して言えることは、国語の「言葉の使い方」の領域に課題があることです。学習した漢字が定着していない、言葉の意味が正しく理解できていない、といった傾向が見られました。また、必要な情報を整理しながら長文を読解することに苦手意識をもっている児童もいるようです。学習状況調査の結果をふまえ、子供たちの課題を改善するため、教職員全体で2学期から取り組むことを以下のように決めました。

- \*授業の始まりに、音読をしたり、漢字・計算等のミニテストを実施したりすることで、基礎学力の定着を図る。
- \*日記、連絡帳のふりかえり等、文章を書く際に条件を与え、その条件に合った文章を書くことに慣れさせる。また、文章を書く際には、習った漢字を必ず使うように繰り返し指導する。

数値には表れない部分の力(自主的・主体的に学習しようとする気持ち、課題に向き合う粘り強さ、丁寧さ、慎重さ等)も学力を付けていくうえでの支えとなります。家庭と連携を取りながら、子供たちの学力を伸ばしていけたらと思います。子供たちへの励ましのお声掛け、よろしくお願いします。